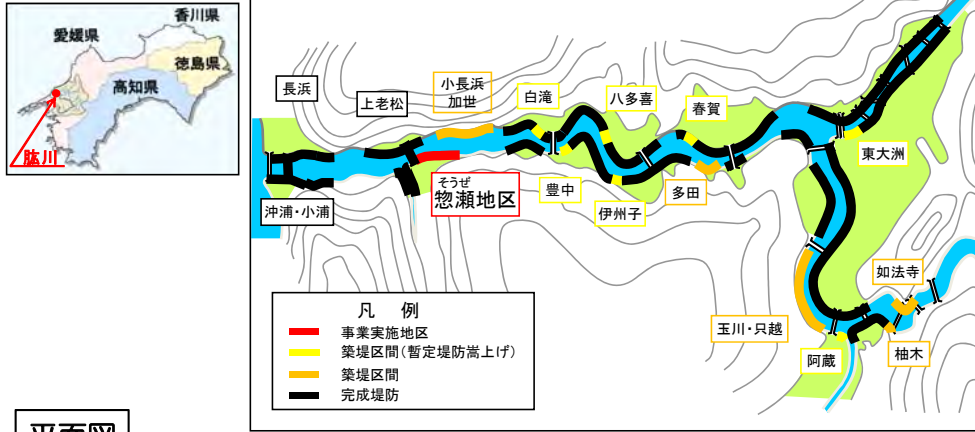
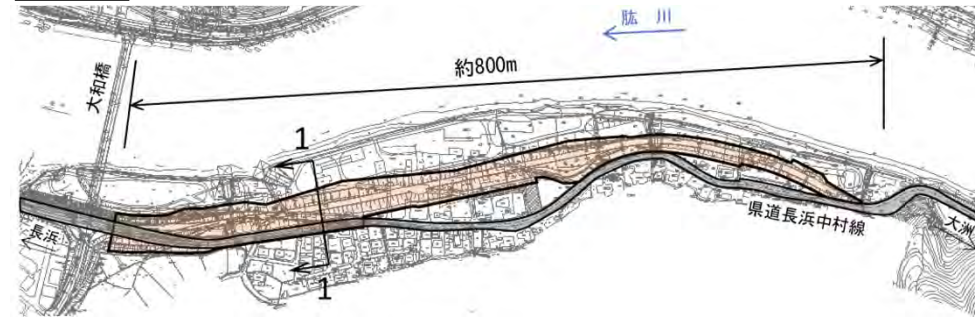


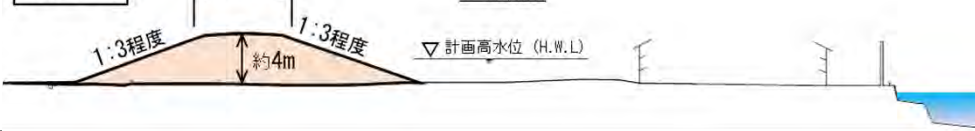
位置図



平面図



横断面図

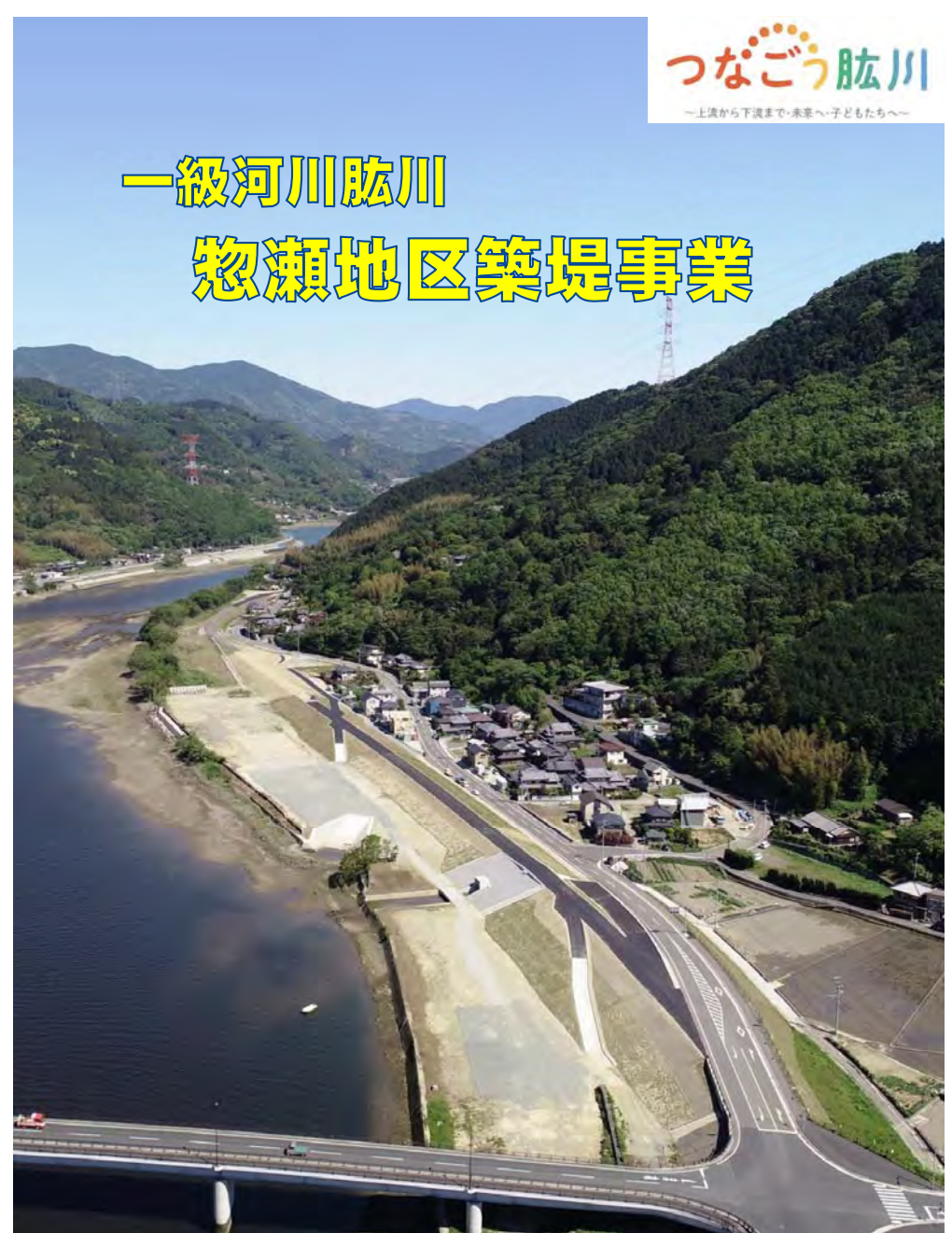


肱川緊急治水対策「つなごう肱川プロジェクト」

■ロゴマーク



- 「長浜(な)がはま」から「宇和(う)わ」・「内子(う)ちこ」まで(つなぐ)【上流から下流まで】
- 「おと(な)」から「しど(う)たち」へ(つなぐ)【未来へ】
- 「肱川流域の歴史、文化、伝統」を未来へ・子供たちへ(つなぐ)【上流から下流まで・未来へ・子どもたちへ】
- 「甚大な被害(赤)」から復興し、「清流肱川(青)」の復活へ(つなぐ)【未来へ】
- 「南予の暖かさ、人の温かさ(赤)」「清流肱川(青)」を未来へ、子どもたちへ(つなぎたい)【未来へ・子どもたちへ】



令和元年5月撮影

国土交通省四国地方整備局
大洲河川国道事務所

〒795-8512 愛媛県大洲市中村210
TEL 0893(24)5185

惣瀬堤防が完成しました

【事業の概要】

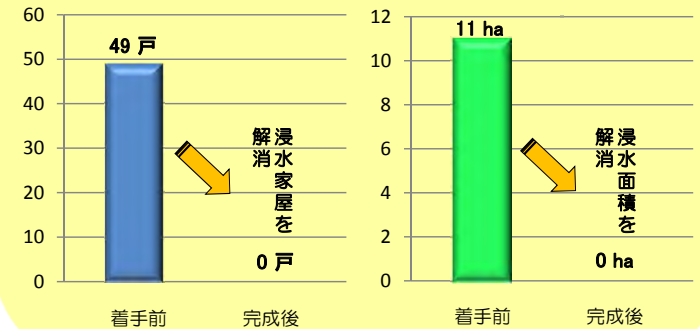
- 惣瀬地区は肱川の左岸に位置する人家の多い地域であり、堤防が無かったため、洪水被害の危険性が高い状況となっていました。
- そのため、平成24年度より国土交通省の河川改修事業として築堤事業に着手しました。
- (整備延長 L = 約 800m)



平成30年7月豪雨(長浜大橋を望む)

【事業の効果】

- 平成16年に策定した肱川河川整備計画の目標流量である洪水に対して、惣瀬地区では浸水家屋49戸、浸水面積約11haの被害が想定されていますが、本築堤事業によりこれらの被害が解消されます。



【事業の経緯】

■平成23年5月	地元説明会を開催
■平成24年5月	用地幅杭打設開始
■平成24年9月	用地調査開始
■平成25年11月	用地取得に着手
■平成27年7月	築堤工事に着手
■令和 元年5月	築堤工事が完成



着手前 (平成25年撮影)



完成 (令和元年5月撮影)

地域の集いの場として

堤防整備で生まれた空間を利用して、堤防や高水敷での散策やスポーツ、川に近づいて親しむために必要となる通路を整備することで、地域のみなさんが活用できる場が広がりました。



高水敷をクロケット場として利用



堤防の上にあがることができる階段

少しでも多くの自然を残したい

もともと地域にあった自然環境を、堤防整備後もできるだけ残せるように配慮しました。



サクラの木は、今年も花を咲かせていました



川沿いの樹木も可能なかぎり保存しました

凡 例

■ : 整備範囲

平成24年撮影 (事業着手前)

肱川